

イヌワシ タカ目タカ科

Aquila chrysaetos (Linnaeus, 1758)

鳥取県：絶滅危惧I類(CR+EN)

環境省：絶滅危惧IB類(EN)



滋賀県／撮影：保井 浩

■**選定理由**：県内での繁殖地は中国山地沿いに限られ、生息数、繁殖成功率も著しく減少し、絶滅の危機に瀕する（現在では数つがい程度）。

■**特徴**：全長90 cm，翼開長200 cmにもなる全身ほぼ黒褐色の大型のワシ。県内でのつがいの行動圏は60–90 km²と広大。急峻な岩棚や、大木の樹幹などで営巣し、1–2月に2卵産むが、育つのはふつう1羽。本来は草原性で、開けた場所で中型の哺乳類，鳥類，ヘビなどを捕食する。

■**分布** 県内：東部山岳地帯から大山山系までの落葉広葉樹林の、岩壁がそそり立つ急峻な山岳部に生息。県外：北海道，本州，四国，九州に生息。世界的には北半球に広く分布する。

■**保護上の留意点**：落葉広葉樹が主体の自然林の保護，生息地周辺の開発行為の規制，生息中心域へのカメラマン，観察者の接近の排除，生息地内の針葉樹植林地の広葉樹林化などによる狩場の創設などが望ましい。

■**特記事項**：国の天然記念物（1965年），国内希少野生動植物種（1993年），鳥取県特定希少野生動植物（2002年）。

■**文献**：16, 41, 42, 43, 51.

執筆者：岡垣大志